

奈良県の労働市場の動き（令和3年4月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は1.18倍で、前月を0.03ポイント上回りました。
- 全国は1.09倍で、奈良県は0.09ポイント上回りました。
- 近畿ブロックは1.04倍で、奈良県は0.14ポイント上回りました。
- 有効求人数（季節調整値）は21,101人で、前月より2.9%の増加となり3ヶ月連続の増加となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は17,938人で、前月より0.4%の増加となり4ヶ月ぶりの増加となりました。

- 新規求人倍率（季節調整値）は2.11倍で、前月を0.02ポイント下回りました。
- 新規求人数（季節調整値）は8,022人で、前月より5.6%の増加となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の業種で減少しました。

建設業（前年同月比9.1%増）、
 製造業（同26.4%増）、
 運輸業、郵便業（同1.8%増）、
 卸売業、小売業（同15.8%減）、
 宿泊業、飲食サービス業（同2.9%減）、
 医療、福祉（同14.0%増）、
 サービス業（他に分類されないもの）（同21.1%増）

- 新規求人数（原数値）7,585人のうちパート求人は3,611人でした。パート求人の比率は47.6%でした。

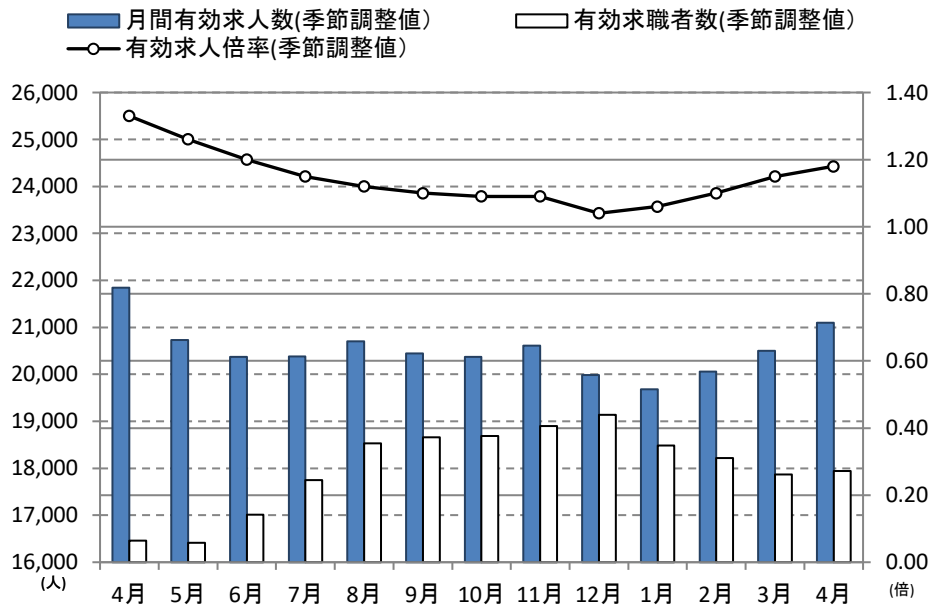
- 新規求職者（季節調整値）は、3,801人で前月より6.6%の増加となりました。

- 雇用保険受給資格決定件数は1,605件でした。
 前年同月比で6.2%の減少となりました。
 ※雇用保険受給資格決定件数は速報値であり、修正があり得ます。

- 雇用保険受給者実人員は4,038人でした。
 前年同月比で23.3%の増加となりました。

（注） 求人倍率等（季節調整値）については、季節調整替えが行われ、令和2年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）により改訂。

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き（パートを含む）



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況（常用・パートを含む）

